

令和 8 年度

# 高度学術医育成コース

Advanced Academic-Doctor Promotion Course

〔 実践学術研究参加型教育 〕  
Academic Researchship Practice

## 履修者募集要項

山 口 大 学

医学部医学科

大学院医学系研究科医学専攻

# I 高度学術医育成コースとは

## 1. 設置の経緯

医学部医学科では、平成22年4月、大学院への進学を奨励し将来の研究医を養成する目的で、「高度学術医育成コース」を設置し、その中に次の2つのプログラムを設置しました。

### ①高度学術医育成特別プログラム「SCEAプログラム」

SCEA (Specially Selected Cutting-Edge Academic)プログラム：特別選抜先端学術プログラム

### ②高度学術医育成一般プログラム「AMRAプログラム」

AMRA (Advanced Medical Research Academic)プログラム：高度医学研究学術プログラム

このうち、「SCEAプログラム」については、社会的要請の強い分野の研究医養成のため、文部科学省から本学部に設置が認められたものです。

各プログラムは、学部・大学院教育を一貫したもので、学部学生を対象としたものを前期プログラム、大学院学生を対象としたものを後期プログラムとして区別します。

## 2. 準備コース

年次ごとに、次の各授業科目を高度学術医育成コースの準備コースと位置付けます。ただし、準備コースは、高度学術医育成コース履修の資格要件ではありません。

### (1) 第2, 3年次

「Open Science Club」を活用する。ここでは、まず、研究室へ自由に出入りすることを目的とし、選択科目として、第2年次、第3年次ともに1単位とします。

### (2) 第3年次

「高度自己修学コース」を活用し、研究志向のきっかけ作りを図ります。また、一定要件のもと、SCEAプログラム/AMRAプログラムの前期プログラムの履修も可能です（「3. 高度学術医育成コースの内容」参照）。

## 3. 高度学術医育成コースの内容

各プログラムの内容は、次のとおりで、様々な優遇措置が設定されています。

事 項	SCEAプログラム	AMRAプログラム
高度学術医育成対象分野	基盤系分野	・前期プログラムにあつては、原則、「高度自己修学コース」における修学論文の作成指導を受けた分野 ・後期プログラムにあつては、全ての分野
履修期間	原則として、前期プログラムは学部第4～6年次の3年間とする。後期プログラムについては、大学院の在学期間は4年以上とされているが、早期修了を考慮して第1～3年次の3年間とし、前後期合わせて6年間とする。学部学生期間中における途中参加とプログラム間の途中転属を認める。また、前期プログラムから後期プログラムに進む際の転属については、SCEAプログラムからAMRAプログラムへの転属に限り認める。なお、前期プログラムについては、高度自己修学コースの履修を終え、かつ、4年次への進級が認められれば、3年次中に前倒して履修を開始できるものとする。AMRAプログラムは、これに加え「高度自己修学コース」において実験研究による修学論文を提出する必要がある。	

	前期プログラムを修了し学部を卒業した後、 <u>原則 10 年以内</u> に大学院へ入学することで、SCEA 後期プログラムの履修が認められる。	前期プログラムを修了し学部を卒業した後、 <u>原則 10 年以内</u> に大学院へ入学することで、AMRA 後期プログラムとして履修が認められる。
定員枠（当該年度の履修者）	4名以上とする。 （各ユニットについては、各ユニット責任者が履修定員を設定する。）	定員枠は定めない。 （各ユニットについては、各ユニット責任者が履修定員を設定する。）
履修申請資格	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医学部医学科の第3年次の高度自己修学コースの履修を終え、かつ、4年次への進級が認められた者。</li> <li>・AMRAプログラムについては、上記に加え高度自己修学コースにおいて実験研究による修学論文を提出した者。</li> </ul>	
履修申請	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事前に履修希望ユニット責任者の承諾を得た上で履修申請書を提出する。</li> </ul>	
選考方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医学科教学委員会による審査を行う。</li> <li>・志望理由、申請時点での自己開発コースおよび修学論文の評価結果等を総合審査する。</li> </ul>	
前期プログラムの授業科目、開設方法及び修了要件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業科目「SCEAコース」及び「AMRAコース」を開設する。</li> <li>・「SCEAコース」の中に基盤系教育研究分野名と同じ15のユニットを設定し、「AMRAコース」に関しては、修学論文の状況に応じ個別にユニットを設定する。（「Ⅱ コース・ユニット一覧」のとおり。）</li> <li>・授業の開設は原則第4～6年次までの3年間とするが、第3年次から前倒しで履修することも可能である。</li> <li>・選択科目とし、第3年次は後期0.5単位、第4、5年次は前・後期各1単位、第6年次は通年2単位とする。</li> <li>・授業は、各年次とも授業の空き時間に組み込む。</li> <li>・2単位以上の修得をもって前期プログラム修了とする。</li> </ul>	
前期プログラムにおける優遇措置	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学部4年次以降の高度学術医育成コース外国語試験の受験資格</li> <li>・学部4年次以降の大学院における「学位論文の関連論文」の執筆</li> <li>・学部4年次以降の以下の大学院授業の受講資格 <ul style="list-style-type: none"> <li>①医学共通基礎科目</li> <li>②最先端医学研究科目</li> </ul> </li> </ul> <p>〔注意〕大学院科目を履修する場合、大学院先取り履修制度に準じ、<b>3月31日までに医学科教務係まで履修申請を行うこと。</b></p>	
	・SCEA奨学生応募資格	
後期プログラムにおける優遇措置	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大学院入試における外国語試験免除（前期プログラム期間中に高度学術医育成コース外国語試験を受験し合格した者に限る。）</li> <li>・前期プログラム期間中に受講した授業の履修免除</li> <li>・博士取得期間の短縮</li> </ul> <p>学部学生期間中に筆頭者として学会発表（地方会を含む）を行い、かつ学</p>	

	<p>部学生期間を含み大学院2年次修了までに学術論文発表（共著でも可）をした上で、筆頭著者として「学位論文の関連論文」を作成すれば、別に定める優れた研究業績の基準に該当し、大学院委員会の議を経て医学専攻会議で認定された場合、大学院を3年間で修了できる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学部学生期間中に筆頭著者として執筆した英文論文について、大学院における指導教授が承認した場合、「学位論文の関連論文」として認定できる。</li> </ul>	
SCEA奨学金	<ul style="list-style-type: none"> <li>・SCEA奨学生応募資格</li> <li>・募集人員：2名/年</li> <li>・支給額（月額） <ul style="list-style-type: none"> <li>学部生 50,000円</li> <li>大学院生 100,000円</li> </ul> </li> <li>・支給期間 <ul style="list-style-type: none"> <li>SCEAプログラム履修期間（学部生として最大3年間、大学院生として最大3年間の最大6年間）</li> </ul> </li> <li>・返還免除要件 <ul style="list-style-type: none"> <li>大学院修了後、奨学金の貸与を受けた期間の2倍に相当する期間中に、奨学金の貸与を受けた期間と同じ期間（最大6年）を研究医として従事すること。</li> </ul> </li> <li>・返還 <ul style="list-style-type: none"> <li>返還免除要件を満たさなかった場合、一括返還する。</li> </ul> </li> <li>・受給者の選考 <ul style="list-style-type: none"> <li>①学業成績，SCEA コース修得単位数等で選考する。ただし、複数分野から申請があった場合、同じ分野からは1名以内の選出とする。また、同じ分野から2年連続の選出は、他分野からの申請が選出枠に満たない場合に限り行うことができる。</li> <li>②選考の結果「該当なし」と判断する場合がある。</li> </ul> </li> </ul>	

優れた研究業績について、“山口大学大学院医学系研究科医学博士課程の学位授与に関する細則の申合せ”第4に、以下のとおり規定しており、(2)の条文が適用されます。

優れた研究業績の基準は、次の各号のいずれかに該当するものとする。

(1) 筆頭著者として、学位論文の関連論文を在学中に作成し、過去5年間のうちで、学位論文の関連論文1編が原則としてJCR (Journal Citation Reports) の「Rank by Journal Impact Factor」又は「Rank by Journal Citation Indicator」の分野別ランキング（以下「分野別ランキング」という。）の上位25%以上（Q1），もしくは、学位論文の関連論文を含む筆頭論文2編が分野別ランキングの上位50%以上（Q1又はQ2）に位置する欧文雑誌に掲載又は掲載受理されていること。

(2) 高度学術医育成コースを履修する者が、学部学生期間中に筆頭者として学会発表（地方会を含

む)を行い、かつ学部学生期間を含み大学院2年次修了までに学術論文発表(共著でも可)をした上で、学位論文の関連論文を作成すること。

## II コース・ユニット一覧

	ユニット名	責任講座	開設状況	
			SCEA コース	AMRA コース
基盤系分野	器官解剖学	器官解剖学講座	○	
	神経解剖学	神経解剖学講座	○	
	分子細胞生理学	分子細胞生理学講座	○	
	神経生理学	神経生理学講座	○	
	システムズ再生・病態医化学	システムズ再生・病態医化学講座	○	
	医化学	医化学講座	○	
	薬理学	薬理学講座	○	
	病理形態学	病理形態学講座	○	
	分子病理学	分子病理学講座	○	
	微生物学	微生物学講座	○	
	システムバイオインフォマティクス	システムバイオインフォマティクス講座	○	
	公衆衛生学・予防医学	公衆衛生学・予防医学講座	○	
	法医学	法医学講座	○	
	免疫学	免疫学講座	○	
	医学教育学	医学教育学講座	○	
展開系分野	消化器内科学	消化器内科学講座		
	器官病態内科学	器官病態内科学講座		
	病態制御内科学	病態制御内科学講座		
	臨床神経学	臨床神経学講座		
	呼吸器・感染症内科学	呼吸器・感染症内科学講座		
	高次脳機能病態学	高次脳機能病態学講座		
	小児科学	小児科学講座		
	器官病態外科学	器官病態外科学講座		
	消化器・腫瘍外科学	消化器・腫瘍外科学講座		
	整形外科学	整形外科学講座		
	皮膚科学	皮膚科学講座		
	泌尿器科学	泌尿器科学講座		
	眼科学	眼科学講座		
	耳鼻咽喉科学	耳鼻咽喉科学講座		
	放射線医学	放射線医学講座		
	放射線腫瘍学	放射線腫瘍学講座		
	産科婦人科学	産科婦人科学講座		
	麻酔・蘇生学	麻酔・蘇生学講座		
	脳神経外科学	脳神経外科学講座		
	歯科口腔外科学	歯科口腔外科学講座		
臨床検査・腫瘍学	臨床検査・腫瘍学講座			
救急医学	救急医学講座			
医療情報判断学	医療情報判断学講座			
臨床薬理学	臨床薬理学講座			

高度自己修学コースにおける修学論文の状況に応じ設定する。

### Ⅲ 募集要項

#### 1. 募集内容、申請手続等

募 集 人 員	SCEAプログラム	4名以上（各ユニットについては、各ユニット責任者が履修定員を設定する。）
	AMRAプログラム	若干名（各ユニットについては、各ユニット責任者が履修定員を設定します。）
履 修 期 間	原則として学部3年間、大学院3年間の6年間とし、途中参加も認めます。前期プログラムは、学部第3年次から前倒しで履修が可能です。	
申 請 資 格	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医学部医学科の第3年次の高度自己修学コースの履修を終え、かつ、4年次への進級が認められた者。</li> <li>・AMRAプログラムについては、上記に加え高度自己修学コースにおいて実験研究による修学論文を提出した者。</li> </ul>	
申 請 期 間	4年次への進級が認められた時点から随時	
選 考 方 法	志望理由および申請時点での自己開発コースおよび修学論文の評価結果等を総合審査する。	
履 修 申 請	「Ⅳ コース・ユニット一覧」を参考に志望プログラム・コース及び志望ユニットを決め、別紙「高度学術医育成コース履修申請書」を作成し、ユニット責任者の承諾印を得て提出してください。	
選考結果の通知	決定後、本人宛に通知します。	
奨学金支給内容	貸与対象者	SCEAプログラム履修者の中から毎年度2名選考します。
	奨学金貸与額	学部生 月額5万円 大学院生 月額10万円
	奨学金貸与期間	SCEAプログラム履修期間（学部生として最大3年間、大学院生として最大3年間）
	奨学金返還免除要件	大学院修了後、奨学金の貸与を受けた期間の2倍に相当する期間中に貸与を受けた期間と同じ期間（最大6年間）を研究医として従事する必要があります。

#### 2. 問合せ先・申請書類提出先

医学部学務課医学科教務係

電 話：0836-22-2053 F A X：0836-22-2059

E-mail：me232@yamaguchi-u.ac.jp

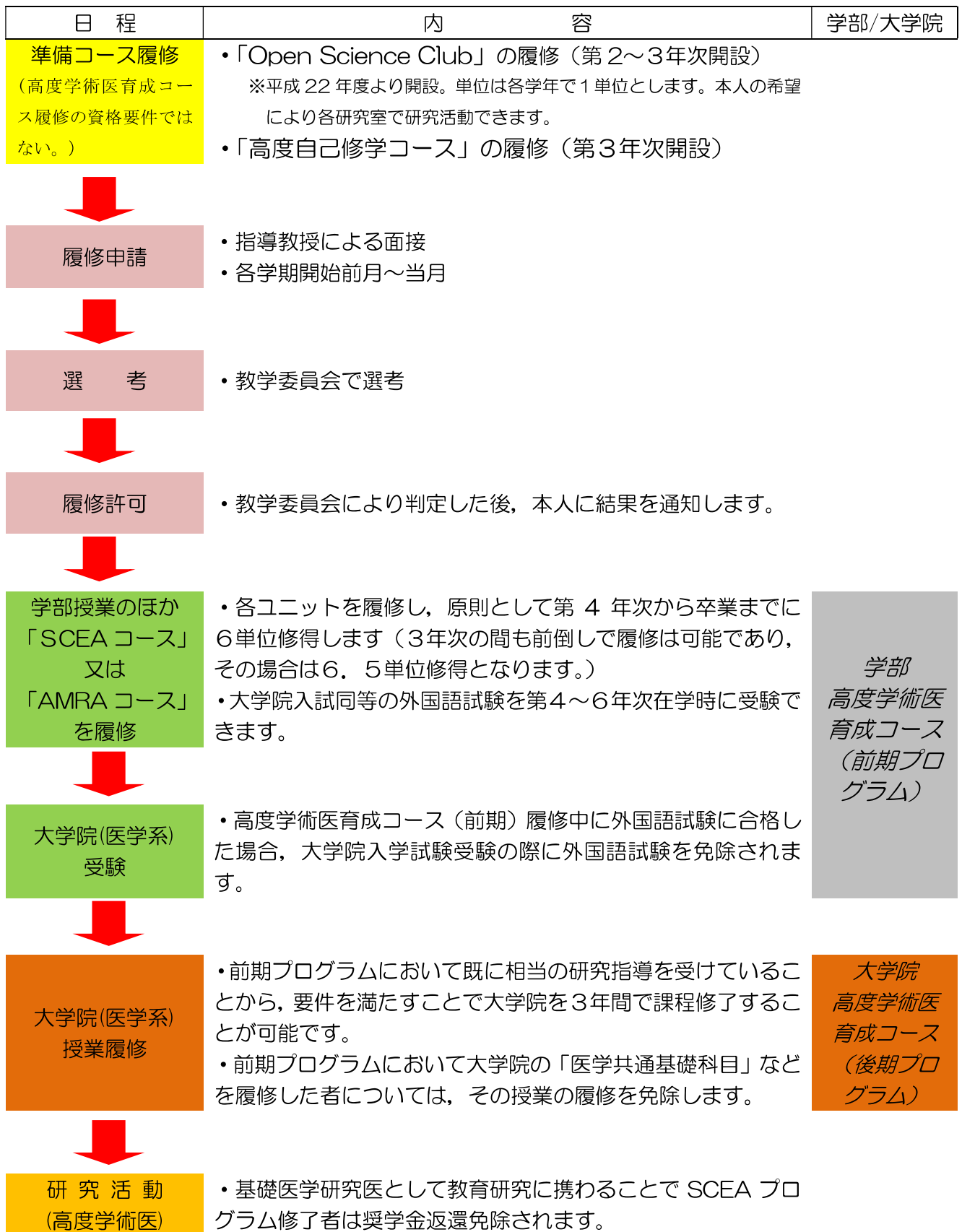
（大学院進学後）

医学部学務課医学科教務係（大学院担当）

電 話：0836-22-2055

E-mail：me232@yamaguchi-u.ac.jp

#### IV 高度学術医育成コースの流れ



令和 8 年度  
高度学術医育成コース履修申請書

申請年月日：令和 年 月 日

申請者	年次	第 年次	学籍番号	- 4 2 0 1 -	
	氏名				
申請区分	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> プログラム（コース）変更 <input type="checkbox"/> ユニット変更                 (SCEA→AMRA)				
志望プログラム・コース名	SCEAプログラム AMRAプログラム	<input type="checkbox"/> SCEAコース <input type="checkbox"/> AMRAコース			
連絡先	TEL :				
	MAIL :				
志望ユニット名	ユニット				
ユニット責任者 氏名・承諾印	氏名				承諾印

課 題	
-----	--

志望理由


提出先：学務課医学科教務係

## 大学院科目の受講申し込みについて

### 1. 医学共通基礎科目

医学共通基礎科目を受講する際、「高度学術医育成コースにおける大学院科目先取り履修申請書」（別紙2）を提出してください。（<https://eyume.med.yamaguchi-u.ac.jp/2025/pages/curriculum#a14>）

なお、開設題目を複数年かけて17開設題目全てを履修してください。

全17開設題目を履修し試験で合格基準を満たした後、本学大学院に進学した場合、各専攻の「医学共通基礎科目」として2単位認定を行います。

また、大学院進学後、不足の開設題目を受講し、全開設科目を修得した場合も同様とします。

### 2. 最先端医学研究科目

学部学生期間中に取得したポイントも含め、認定された学会、講演会等への1回の出席に対し2ポイント、発表者として出席した場合は4ポイントを与え、合計30ポイント以上を取得することにより2単位を認定します。

### 申し込み方法等

申請書を3月31日までに医学科教務係まで提出してください。

別紙2

令和8年度 高度学術医育成コースにおける大学院科目先取り履修申請書  
【令和8年度以降履修者用】

申請年月日：令和 年 月 日

申請者	年次	第 年次	学籍番号	- 4 2 0 1 - -
	氏名			
連絡先	TEL:			
	MAIL:			
大学院科目受講	医学共通基礎科目	<input type="checkbox"/> 受講する <input type="checkbox"/> 受講しない		
	最先端医学研究科目	<input type="checkbox"/> 受講する <input type="checkbox"/> 受講しない		

※大学院科目を履修する場合、大学院先取り履修制度に準じ、3月31日までに医学科教務係まで履修申請を行うこと。

※最先端医学研究科目を履修申請する場合、本申請書を提出すること。なお、履修後に必ず認定証を提出すること。

1. 医学共通基礎科目【医学博士課程】

医学共通基礎科目を受講する際、以下の受講の希望欄に○を付して下さい。(講義は遠隔で行います)

日	時	題目番号	題目	所属	受講の希望
4月9日 (木)	16:20~17:50	3	細胞実験法	免疫学講座	
	18:00~19:30	2	動物実験法	総合科学実験センター	
4月10日 (金)	16:20~17:50	4	微生物学実験法	微生物学講座	
	18:00~19:30	5	遺伝学実験法	医化学講座	
4月16日 (木)	16:20~17:50		(予備日)		
	18:00~19:30	8	細胞形態学的実験法2	器官解剖学講座	
4月17日 (金)	16:20~17:50	9	生理学実験法1	神経生理学講座	
	18:00~19:30	12	データ解析・統計解析法	システムバイオインフォマティクス講座	
4月23日 (木)	16:20~17:50		(予備日)		
	18:00~19:30	10	生理学実験法2	分子細胞生理学講座	
4月24日 (金)	16:20~17:50	11	法医学中毒・アルコール分析法	法医学講座	
	18:00~19:30	15	研究倫理としての安全衛生配慮と労働安全衛生法	労働安全衛生管理室/化学物質安全推進室 (教育支援センター/健康科学センター)	
4月30日 (木)	16:20~17:50	13	薬理学実験法	薬理学講座	
	18:00~19:30	30	組織学的解析法2	分子病理学講座	
5月1日 (金)	16:20~17:50		(予備日)		
	18:00~19:30	14	疫学的解析法	公衆衛生学・予防医学講座	
5月7日 (木)	16:20~17:50	28	分子生物学実験法	遺伝子実験施設	
	18:00~19:30	7	細胞形態学的実験法1	神経解剖学講座	
5月8日 (金)	16:20~17:50	29	組織学的解析法1	病理形態学講座	
	18:00~19:30	6	生化学実験法	システムズ再生・病態医化学講座	
5月14日 (木)	16:20~		医修館2階 第2講義室		

※複数年度履修する場合は必ず年度単位で申請を行う